

07/2.19 うたごえ

音楽会を きいて

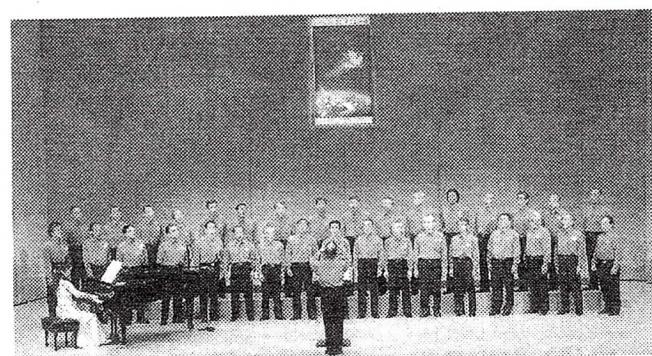
と伸ばして並んだ姿は「平和を呼ぶ歌人たち」という感じがしました。

男声合唱団「昴」
春を呼ぶ「コンサート」
2月2日 阿倍野区民センター

スタートから全国に名を知られ、うたごえ祭典で常に上位入賞を続けている「昴」、今年で結成7周年目とか。赤をグレーのシャツに着替えて背筋をしゃん

ロシア民謡も含めて11曲を演奏されたが、平和の歌や、人生の歌に合唱団の特徴が發揮されて感動しました。力強さと纖細さを曲に

合わせて出すところが魅力的だったし、司会をメンバー



伝えるのに有効的だった。熱烈なファンが多いというのも納得がいきました。佐藤信作詞、林光作曲の「花の歌」は中米での新た

平和呼ぶ歌人たち

るメンバーの、しみじみとした愛の歌、人間の歌について、ピアノソロも披露された近藤静さんの伴奏も見事でした。檀美知生さんのテノ

なうねりを思わせて印象に残りました。最後の「川の流れのように」は女声合唱とまた違った意味で聴か

て一足速く会場は春だった。

上殿紀久子（日本のうたごえ祭典in奈良 実行委員会運営委員長）